

冬の図書館行事

※申込方法の明示がないものは、当日、直接会場へ。
※中央図書館は第2月曜・月末日休館。その他の図書館は第3月曜・月末日休館。
※小茂根図書館は12月2日(月)～7日(土)休館



行 事	と き	内 容	対 象	定 員	ところ・申込・問
板橋の暗渠を巡る あんきょ たど	12月1日(日)10時～12時	中央図書館周辺を巡る暗渠ツアー	—	20人 (申込順)	11月16日(土)朝9時から、電子申請(区立図書館ホームページ参照)で、中央図書館 ☎6281-0291
ひだまり朗読会	12月1日(日)14時～15時	朗読の会「もくよう会」による朗読	中学生以上	20人 (申込順)	11月17日(日)朝9時から、直接または電話で、西台図書館 ☎5399-1191
折り紙講座	12月1日(日)14時～15時30分	折り紙でクリスマスリースづくり	小学4年生以上	16人 (申込順)	直接または電話で、蓮根図書館 ☎3965-7351
オリジナル御朱印帳をつくろう	12月1日(日)14時～15時30分	選んだ絵柄で御朱印帳づくり ※費用：1冊1000円	中学生以上	10人 (申込順)	11月16日(土)10時から、直接または電話で、成増図書館 ☎3977-6078
バリスタ・中橋聡による コーヒーの淹れ方セミナー	12月1日(日)14時～16時	講義・実践	中学生以上	20人 (申込順)	11月16日(土)朝9時から、直接または電話で、東板橋図書館 ☎3579-2666
えいごでおはなし会	12月14日(土)14時～14時40分	英語の歌や手遊び・絵本の読み聞かせ	—	15人 (申込順)	11月30日(土)朝9時から、直接または電話で、赤塚図書館 ☎3939-5281
クリスマスおはなし会	12月15日(日)11時～11時45分	大型絵本・紙芝居の読み聞かせなど	小学生以下のお子さんと その保護者	15組 (申込順)	12月1日(日)朝9時から、直接または電話で、東板橋図書館 ☎3579-2666
	12月18日(水)15時30分～16時15分	大型絵本や紙芝居の読み聞かせ、 工作など		15組 (先着順)	中央図書館 ☎6281-0291
	12月22日(日)11時～11時30分	大型絵本・紙芝居の読み聞かせ、 パネルシアターなど		15組 (申込順)	12月8日(日)朝9時から、直接または電話で、小茂根図書館 ☎3554-8801
漫画ワークショップ	12月22日(日)10時30分～12時	漫画家による講義・実習「作品づくりのコツ・描き方など」	小学生～中学生	15人 (申込順)	11月16日(土)朝9時から、直接または電話で、氷川図書館 ☎3961-9981
しみずでかげえ	12月22日(日)14時～15時	影絵グループ「あけびの会」による 影絵劇	中学生以下のお子さんと その保護者	70人 (申込順)	11月25日(月)朝9時から、直接または電話で、清水図書館 ☎3965-9701
劇団銅鑼イベント	来年1月11日(土) A 14時～14時30分 B 15時～15時30分	劇団員による朗読劇	A 小学生 B 中学生以上	A B 各40人 (先着順)	中央図書館 ☎6281-0291
新春 絵本のカルタ会	来年1月12日(日)14時～14時40分	絵本「わにわに」の読み聞かせ、 カルタ遊び	A 3歳～未就学児 B 小学1～3年生	A B 各5人 (申込順)	12月4日(水)朝9時から、直接または電話で、蓮根図書館 ☎3965-7351

いたばし区民文芸 9月・10月分

歌壇 宇田川寛之 選

▼天 面会の度に夫問う「ここはどこのリフォー
期間の施設入所を

▼地 土だけの鉢見せに来る園児あり元気に育て
その花と君

▼人 人生の河に静かな夕闇がひっそりと今ト
ボを呼んで

▼評 天賞、リフォー期間のみ夫を施設に預け
るが、面会のたびに切ない問い掛け。どのように
答えたのか。地賞、園児が見せに来た土だけの鉢
には、いずれ花が咲く。同じように育てよとい
う年長者の願い。人賞、人生という河に夕闇があり
小さなトンボを呼び込む。余韻ある一首。

俳壇 中村和弘 選

▼天 めいつばい伸ぶる梯子や松手入

▼地 前後ろ背にもママチャリ年の暮 三井清一

▼人 闇割って稲妻走る古戦場 和田幸久

▼評 天賞、松手入は秋に行う。一番高い所まで
伸ばしての作業。松の匂い。光景が目につく。地
賞、ママチャリの前と後に子を乗せ更にもう一人
負(お)んぶし走る。年の暮若いお母さんは忙しい。
人賞、古戦場を一瞬稲妻が闇を割り走る。古の合
戦のどよめきが聞こえてきそう。

川柳 尾藤川柳 選

▼天 久々の風の便りに無事を知り 中村百合子

▼地 名月を觀賞中も止まぬ汗 高橋三千代

▼人 着飾ってペットも参加七五三 鈴木あきら

▼評 天賞、ネット時代の風の便り。より人間味
のある知らせ。地賞、彼岸まで猛暑だった時事。
人賞、主客転倒の時代。

集句中に「川柳にうれし悲しみ託す我」という句
があった。嬉しい一句だが、「われ」は自明。「川
柳の手に嬉しさも悲しみも」といった単なる報告
調とは違う描写体の表現が有効だろう。

いづれも

▼申込・問 12月1日(必着)まで、はがきに部門
(短歌・俳句・川柳の別)、作品(1人各部門1作
品で未発表のもの)と必要事項申込記入例8面参
照を明記のうえ、(公財)板橋区文化・国際交流
財団(〒173-0014 大山東町51-1) ☎3579-
13130 ※文字は楷書で丁寧に。漢字にはふり
がなも明記。※入選作品の他誌への投稿はご遠慮
ください。

